

平成25年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成25年9月25日

施設名	青少年センター	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1. 施設の概要

施設所在地	高知県香南市野市町西野303-1
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営に関すること ・施設の利用の許可に関すること ・設備の維持管理に関すること ・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること <p><平成24年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中1学級づくり合宿 ・クラスまるごとお出かけ授業 ・野菜ウォッチャー隊 ・ジオ化石博士になろう ・わいわいチャレンジ など
施設内容	<p>「青少年の健全な育成」と「スポーツの振興」の2つの役割を担っているが、これらのためにはとりわけ、義務教育段階などにある児童・生徒の心と体の成長に資する取り組みが重要であることから、学校現場をはじめとした関係団体などと連携した社会教育や体力・競技力の向上などに向けた事業を推進している。</p> <p>構造: 本館 鉄筋コンクリート 3階建 延べ2,214.68㎡ 宿泊棟 鉄筋コンクリート3階建 延べ1,416.72㎡ 体育館 鉄筋コンクリート・小屋組木及び鉄骨造2階建 延べ9,330.81㎡</p> <p>施設概要:</p> <p>本館 青少年ホール(定員200名) 会議室(定員30名×3室) 視聴覚室(定員42名) 調理室(定員24名)</p> <p>別館 食堂(定員174名) 会議室 和室(定員20名×2室) 宿泊棟(定員151名) 浴室(大浴室・小浴室)</p> <p>野外炊飯棟 定員80名 補助グラウンド ソフトボール球場 体育館 大アリーナ 小アリーナ トレーニング室 医科学測定室 会議室</p> <p>陸上競技場兼、サッカー場</p>
職員体制	<p>職員: 所長 1名 次長1名、事業課長1名、チーフ1名、主任2名、主幹1名、主任社会教育主事3名、非常勤職員1名 合計: 11名 現業部門は土佐青少年育成会に委託(12名)</p>

2. 利用実績

(1) 宿泊者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
人数	7,913	8,220	8,132	7,856	7,915	8,007

(2) 利用団体数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
団体数	1,707	1,754	1,773	1,740	1,929	1,781

(3) 利用者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
人数	125,796	124,793	123,363	117,666	123,499	123,023

3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用が少ない高校への施設利用の働きかけを行い、合宿補習などの新しい利用の仕方を提案するなど施設のPRや利用者の拡大に努めている。 ○施設の特色を活かした独自の魅力的なプログラムを開発し、多様な利用者層を確保している。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏休み期間中は休館日なしのフルオープンにしたり、飲料用水栓を体育館に設置するなど、ハード面でもソフト面でも利用者のニーズに速やかに対応している。 ○研修等へは年間1人2回以上の参加を奨励し、所内でも外部講師による研修を行うなど、職員の資質・指導力向上に努めている。 ○中1学級づくり合宿やクラスまるごとお出かけ授業など学校支援を目的とする事業を継続的に実施するなど、学校と連携した取り組みを行っている。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ○施設を巡回し、目視による安全・衛生面の確認を行うとともに、チェックリストによる確認を行い、修繕など整備が必要であれば迅速な対応をしている。 ○現業部門を委託している財団法人土佐青少年育成会と密接に連携し、相互の意思疎通に努め円滑な運営ができています。
④利用実績	○平成23年度と比較して、利用者数は5,833人の増加、利用団体数は189団体増加している。
⑤収支の状況	○利用者の増加により、平成23年度と比較して、使用料収入は563千円の増収となった。
総合評価	<p>○課題意識が高く施設の理念や方向性が明確であり、施設の特徴を活かした多様な事業を展開できている。その結果、利用者の増加にもつながっている。</p> <p>○学校支援を目的とした事業も多く、今後、学校の教育的課題解決の一助をなす施設として大きな役割を果たすことが期待される。</p> <p>○改築が予定されているなかで、中心部に近い立地環境や体育施設を併設している施設の特徴を活かすとともに、これまでの取り組みによる課題等を踏まえ、改築後の施設ビジョンを検討されたい。</p>
	A